

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あづま児童発達支援センター「宙そら」		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・TEACCHプログラムを取り入れている。一人ひとりの子どもに合わせた、療育・支援を丁寧に行っている。	・子ども一人の特性や、発達に合わせたスケジュールがあり、視覚提示によりスムーズに活動に入る事が出来る。	・保護者にも療育の内容を見て頂く機会を増やしたい。(行事等を増やす)
2	・研修体制が充実しており、全職員が参加出来る様にしている。	・同法人の保育園・子ども園も参加し、オンライン研修を実施し、共有が出来ている。センターに関しては、実際に訪問指導もお願いしている。	・外部の研修にも積極的に参加し、個々のスキルアップを図りたい。
3	・センター内に、相談支援事業所がある。	・相談支援事業所を併設していることで、情報の共有がスムーズであり、同法人の放デイとも情報共有を行っている。	・センター職員・児発管・相談支援専門員も含めた、事例検討会や担当者等で密に情報を共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域に開かれた事業運営は難しいと感じる。園よりも作成しているが、写真掲載もあり、配布が難しい。	・個人情報(写真)等の制約がある。 ・さつまいも、大根、トマトの苗植えの収穫体験をしているが、お手伝いして下さる方が高齢である。	・個人情報を保護できる様、計画的に事前準備を行い、地域のお祭り等に参加を検討している。宙独自のミニ講座を開催し告知の仕方も工夫が必要である。
2	・玄関スペースが狭く、保護者が室内に入りきれない。	・構造的な問題から、直ぐに対応することは難しい。	・資金の問題や、書類の変更等も発生する為、時期を見て改築する事も視野に入れて考慮している。
3	・併用型の為、幼稚園、保育園、子ども園での行事があると欠席が多くなり、日々の利用人数が定まりにくい。	・保護者や、子どもの要望に寄り添い、丁寧に対応することにより課題点が見えてくるのではないかな?	・感染症にかからず、出来るだけ通所出来る様、衛生環境を整える努力をしている。